

1. IWFによる参加枠決定方法

① 最大参加者数

男子：156名 (世界選手権大会で108名、大陸大会で31名、開催国3名)
 (個人出場権8名+招待枠6名)
 女子：104名 (世界選手権大会で67名、大陸大会で24名、開催国2名)
 (個人出場権7名+招待枠4名)
 合計：260名

② (2014年世界選手権大会の得点) + (2015年世界選手権大会の得点) が国別得点となる。

③ 上記①の2014、2015世界選手権大会で出場選手それぞれ男子上位6名、女子上位4名の得点を足し、国別順位をつけ下表のとおり国別参加人数を決定する。

「男子」

合計得点での順位	国別参加人数	合計人数
1～6	6名	6×6=36
7～12	5名	5×6=30
12～18	4名	4×6=24
19～24	3名	3×6=18
24カ国		108名

「女子」

合計得点での順位	国別参加人数	合計人数
1～9	4名	4×9=36
10～16	3名	3×7=21
17～21	2名	2×5=10
21カ国		67名

④ 上記③で、参加資格を得ることができなかった国は、大陸大会にて上記③で参加資格を得た国を除く順位により、下表のとおり国別参加人数を決定する。

「男子」

大陸名	順位と人数	計
アフリカ	1位～5位：1名	5名
アジア	1位～7位：1名	7名
ヨーロッパ	1位～7位：1名	7名
アメリカ	1位～7位：1名	7名
オセアニア	1位～5位：1名	5名
合計		31名

「女子」

大陸名	順位と人数	計
アフリカ	1位～4位：1名	4名
アジア	1位～6位：1名	6名
ヨーロッパ	1位～6位：1名	6名
アメリカ	1位～4位：1名	4名
オセアニア	1位～4位：1名	4名
合計		24名

2. 個人参加資格について

・IWFが指定した以下の大会に2つ以上参加しているものの中から2016年リオオリンピック競技大会参加選手選考が行われる。

- ・2014年 世界選手権大会、アジア競技大会、IWFグランプリ、コモンスウェルス大会
- ・2015年 世界ジュニア選手権大会、世界選手権大会、IWFグランプリ
- ・2016年 アジア選手権大会(大陸予選)、IWFグランプリ

1 世界選手権大会で枠取りをした場合の選手選考方法

- ① 2014年・2015年の世界選手権大会の総合団体順位で、男子は3名以上、女子は2名以上の出場選手枠を獲得した場合は、内定選手を選考する。
- ② 上記①で決定した内定選手以外の選手及び内定選手がいなかった場合は、2015年世界選手権大会、2016年全日本選手権大会を選考対象大会とし、オリンピック大会出場予想ランキングに当てはめ選手を選考する。

「男子」

世界選手権大会 での出場枠獲得数	内 定 選 手 の 選 考	
	最大内定数	選 考 基 準
6人	2人	・ 2015年世界選手権大会で8位以内入賞者のうち、上位2名を代表選手に内定する。なお、3名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。それでも同じ場合は3位に近い記録を優先する。 (8位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)
5人		
4人	1人	・ 2015年世界選手権大会で8位以内入賞者のうち、上位1名を代表選手に内定する。なお、2名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。それでも同じ場合は3位に近い記録を優先する。 (8位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)
3人		

「女子」

世界選手権大会 での出場枠獲得数	内 定 選 手 の 選 考	
	最大内定数	選 考 基 準
4人	1人	・ 2015年世界選手権大会で8位以内入賞者のうち、上位1名を代表選手に内定する。なお、2名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。それでも同じ場合は3位に近い記録を優先する。 (8位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)
3人		
2人	1人	・ 2015年世界選手権大会で3位以内入賞者のうち、上位1名を代表選手に内定する。なお、2名以上が同位の場合、2014年世界選手権大会と2015年世界選手権大会の獲得ポイント※1の和の多い選手を選考する。 (3位以内入賞がない場合は獲得ポイント※1での内定選手の選考はしない)

※1 獲得ポイントとはIWF得点方式である、1位28点、2位25点、3位23点、4位22点、5位21点・・・24位2点、25位1点の付け方。